

令和6年度 今治市立図書館 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市立中央図書館、今治市立波方図書館、今治市立大西図書館、今治市立大三島図書館		
所在地	今治市常盤町5丁目203番地2、今治市波方町樋口甲72番地1、今治市大西町宮脇甲506番地の1、今治市大三島町宮浦5713番地		
指定管理者	名 称 T R C今治図書館サポート 代表者 株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子 四国通建株式会社 代表取締役 高木 康弘 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号 今治市南大門町一丁目1番地の15		
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。		
担当部課 (問合せ先)	教育委員会事務局 教育政策局 生涯学習課 T E L : 0 8 9 8 - 3 6 - 1 6 0 2 E - mail : sgakusyuu@imabari-city.jp		

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の目的や基本方針から外れることなく運営を行いました。地域との連携を積極的に行い、多くのイベント等を開催し利用促進に努めました。	B	施設の設置目的、管理運営の方針、条例、規則、仕様書または本市の図書館や教育行政について理解の上、今治市立図書館のサービス向上に努めている。
利用状況	B	来館者数は、多くの多彩なイベントの開催なので、全館で目標を達成しました。貸出に関しては目標達成できませんでした。これはコロナの制限が完全になくなり、館内での閲覧が増えた事や、来館しなくてもできるサービスの認知度が上がった事が貸出冊数に影響が出ていると分析します。	B	非来館型サービスがコロナ禍を機に定着し、利用数を伸ばしている一方、来館型サービスの指標に影響が見られる。当該評価については総合的に判定する必要がある。今後とも利用者に必要とされる様々な利用のあり方を分析し、より求められるサービスにつなげられたい。
事業収支	A	入出金に関するトラブルもなく適切に運用しました。予算については、光熱費は相変わらずの高い値が続いていますが、他の項目はほぼ予算通りに執行しました。図書館資料購入費も指定額の執行残が発生しないよう資料を購入しました。	B	市の指定額を満たした資料の購入を実施し、指定管理者の経営状況にも問題がないと思われる。施設の特色上事業収入により維持される性質ではないため、光熱水費の高騰等厳しい経営が続くと予想されるが、適正な人件費の確保と安全性やサービスの低下につながらない範囲で経費削減の努力は継続されたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	奉仕業務・管理業務とも適切な配置を行い運営を行いました。また勤務日数、勤務時間も適切に管理をしています。研修に関しては、webでの社内研修を必須として全員が参加をしました。その他社外研修にも積極的に参加をしスタッフのスキル向上に努めました。	A	応援体制等による適切な人員配置と、障がい者雇用に関して基準を上回る雇用率を維持し、事業継続したこと、また多種多様な研修に参加し、全国的に図書館業務を受託しているスケールメリットを活かしたWeb研修により研修機会を確保したことを評価する。
管理運営業務	A	基本管理業務に加え、教育的事業・奉仕団体教育的事業や移動図書館の運行も適切に行いました。	A	仕様書に定められた業務基準を満たすよう適正に管理運営され、島しょ部窓口事業への協力等市の要請にも誠実に対応している。引き続き利用者が快適かつ安全に利用できるよう管理運営を適切に行っていただくと共に、学校図書館との連携、島しょ部窓口開設の周知等への協力を願いたい。
利用業務	B	来館者については、目標数を達成することができましたが、貸出数に関しては、館内での利用が増えたのと、非来館サービスの増加もあり目標達成できませんでした。しかし、電子図書館の利用は大幅に伸びています。	B	定期的に図書館活動がメディアに取り上げられ、X、インスタグラムといった新しい媒体による情報発信を積極的に継続し、利用促進に努めていることを評価する。イベント等の機会を通じ図書館のSNSの存在自体をより一層周知し、活用されたい。利用状況については施設毎に異なる傾向も見られることから、個別に要因を分析の上、適正な目標設定と利用促進に努められたい。また、利用者や図書館員への嫌がらせ等の問題行動に対しては毅然と対応し、今後も安心安全な利用環境を維持されたい。
その他業務	A	実施計画に基づき、適切に対応・実施を行いました。	B	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアルを作成し、事故等連絡体制もおおむね整備され、市への報告も速やかになされている。地震等災害発生時に備えるため、地元自治会等との協力体制を構築する等、事故・災害対応について対策に努められたい。
修繕業務	A	専門技術者のもとに適正に管理を行いました。経年劣化による施設の不具合が多く発生していますが、常に自治体との協議を行いながら、安全対策を優先して修繕を実施しました。	B	施設の老朽化が進み、修繕箇所・修繕規模共に増大する中、指定管理者のできることを随時対応している。今後とも応急的な修繕や日常点検等を適切に実施することにより、大きな事故につながらないよう管理されたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	A	今期も、破損したものや必要とされるものを購入しました。また、備品管理も適切に行いました。	B	おおむね適正に備品の維持管理および購入がされている。既存備品も経年劣化が進む中、計画的な買い替えが必要となるため、適切に実施できるよう環境整備されたい。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	A	中央館と波方館における自動販売機の設置および、中央館における「ぶっくんのおみせ」の手続きを適切に行いました。	B	行政財産の目的外使用については、適正な手続きを経た上で管理されている。今後、利用者ニーズについて情報収集し、施設の目的を外れない範囲での新たな取組の可能性も検証されたい。
自主事業	A	今年度も、積極的に自主事業を実施しました。地場産業の記録として「タオルびと制作プロジェクト」もHPを通じて継続、昨年度から、新たな事業として「図書館ハローワーク」を開催し、今年度は桜井漆器組合の協力のもと桜井漆器に焦点を充てました。中央の読書講演会では、原田ひ香氏をお迎えし高校生によるビブリオバトルを開催、波方では合併20周年記念講演会として大沢在昌氏をお迎えし作品についての魅力をお話いただきました。大西では、郷土行事の「たのもさんづくり」や絵本作家の鈴木のりたけ氏の講演会、大三島では、大三島分校写真部による写真講座も開催しました。その他にも、岡山理科大とのコラボ企画「今治サイエンスクラブ」やFC今治との連携でホームゲームでの移動図書館の参加、イオンモール今治新都市では、読み聞かせ会や電子図書館のデモンストレーションを開催しました。電子図書館の一層の普及のために、教育委員会の協力のもと、市内小中の児童・生徒に電子図書館のIDを付与していますが認知がすすみ、利用が一気に増えました。また、HPから中央図書館の様子がわかる「バーチャル図書館」の開始やSNSを使った広報を積極的に行い、図書館で実施しているイベントやむ展示企画などの発信を行いました。今年度も多くの新聞等にイベントや企画が掲載され今治市立図書館の広報に繋がりました。	A	多種多様で積極的な事業展開により教育的効果が上がっていると思われる。すべての図書館で本と人と体験を結ぶ各種事業が企画されており、本を通じて地域に文化を還元していることを大いに評価する。 SNSをより活用した積極的広報活動、全施設での企画の共有等今後も工夫した事業展開を期待する。
地域団体との連携	B	「タオルびと制作プロジェクト」では、引き続き城西大学様を通じて、今治のタオル関連の協力のもと公開を続けました。今治史談会様とは、引き続き「国府叢書」の後半部の出版化の協力を続けています。桜井漆器協同組合の協力を得て、「図書館ハローワーク」を開催しました。岡山理科大様とは、「今治サイエンスクラブ」をコラボで、他 FC今治やイオンモール今治新都市・河野美術館との連携を行い事業を実施しました。また、地域ボランティア団体とも良好な関係を続けて協力をいただいております。	B	おおむね適切に事業が実施されている。防災面を考慮した地元自治会との協力体制、図書館の人的資源をアウトプットするような連携も含め、今後とも各種団体・地域活動との連携を進められたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	A	今年度も「来館者アンケート」を実施しました。回収数も1,300人あまりの方に協力をいただきました。現状での利用者の分析ができました。このアンケートを通して今後のサービスの参考にいたします。	B	アンケート結果は図書館ホームページで公表されており、広く情報公開もなされている。例年実施する項目に加え、書架整理日変更の可否や、島しょ部公民館等の窓口で図書館の本の受取りができることの認知度等の問いを設定して、サービスの向上に取り組む姿勢がみられる。得られた分析結果を運営改善等に反映されるよう今後一層の努力をお願いする。また実施方法も、オンラインを活用した方法等も検討いただきたい。
事故・苦情	A	利用者からのご意見に関しては「ご意見箱」を設置し、すべてのご意見に対する回答を常時閲覧できるようにしています。また、直接いただいた苦情などは、自治体への報告はもちろん、責任者から一般スタッフまで速やかに共有しています。	B	適切に対応されていると考える。今後とも事故・苦情の情報について職員間でも迅速に情報共有し、課題解決に向けて努められたい。
指定管理者の経営状態			指定管理者として問題なく経営が行われている。	

総 合 コ メ ン ト （市）

指定管理者は図書館施設の目的や基本方針などを理解し、関係条例、規則、業務仕様書に基づき、事業計画を立て、適切な業務管理・運営を実施していると評価します。

自主事業として取り組む電子図書館についても、教育委員会との連携により、市立小・中学校の全児童生徒への利用IDの付与が実現され、子どもたちの読書機会を広げています。

SNS等を活用した情報発信、地場産業である桜井漆器を題材にした事業はじめ、著名作家を招聘した講演会やビブリオバトル等だけでなく、地元有識者による講座の開催等多様な自主事業に積極的に取り組み、メディアにも定期的に取り上げられる等市内外へのPRにも効果がありました。

引き続き利用者ニーズの把握・分析を進め、変化する社会情勢に対応した魅力的な図書館づくり、効果的な宣伝広報等、ひろく利用促進を図り、事業提案いただけることを期待します。